

Messages: 新規嘱任教員 (松崎克彦)

私は数学の研究をしている。発見の喜びをなんとか味わおうと日々考え続けているが、なかなかその瞬間はやってこない。かつて賢人が馬車に乗る瞬間に鋭いひらめきを得たように、私も大学教員になりたてのころ、比べ物にならないほど小さな問題に対してではあるが、ある瞬間に天啓が下り、証明すべての正当性を論証よりも先に体感したことがある。以来、そのときが再び来ることを願い、研究を続けている。

私は、数学への愛着が講義やセミナーのなかで生かされて、それがまわりにも伝播すればよいと思っている。教育学部の学生は、学問の文化を伝えるという広い意味での教育に将来もかかわっていくのだとすれば、方法や技術だけに腐心するのではなく、まずは自分自身が満たされるべきものを学び、さらにはその質を高めていくことを目標とするのが望ましいと考える。